



中島 宗昭 議員

**問 日本型伝統食文化の復活
完全米飯給食の実現を**

問 人と食性との調和を復活させることが大事と全国的に完全米飯給食に取り組む市町が増え続けている。本町でも完全米飯給食を望むが？

教育長 本年度より週3・5回の米飯給食実施へと見直したばかりで、再度の見直しは時間がかかる。



おいしそうな今日の献立

問 見直す前の事前調査不足はなかったのか。子供たちに安全・安心な食材を食べさせなければならぬという使命感から、完全米飯給食に取り

組まれる教育長もいます。育ち盛りの子供たちに時間の猶予はありません。もう一度取り組んでいただきたい。



手際よく配膳

教育長 今後とも、施設の問題も視野に入れて検討したい。

問 なぜ何回も問うかという点、完全米飯給食の実現により、子供たちの心身の健康、将来の健康習慣、米食という究極の地産地消による農業の復興、そして農業に付随した環境保全など、米飯給食はオールマイティーな食育政

策であるからです。ただ余っているから食べるのではなく、町民と地域経済の健康を守るために、米を中心とした日本の伝統的食文化として、断固たる意思を持って完全米飯給食を進めていただきたい。

教育長 完全米飯給食へ移行することのメリット、デメリットを学校関係者、児童・生徒、保護者の皆さんの意見を聞いて、検討していきたい。



たのしい給食

問 水質保全と改善のために、合併浄化槽設置促進に努められているが、維持管理費が高すぎる

と聞く。経費負担の軽減は出来ないか？

環境課長 近隣市町の公共下水道と比べても負担が大きくなっているため、近隣市町並みの負担に軽減できないか検討する必要があると考えている。

問 維持管理費用も戸別でまちまちと聞

環境課長 業者に確認したところ、居住人数が設置槽に比べて大幅に少なく、汚泥の蓄積など汚れが少ない家庭の浄化槽においては、値引きを行っているケースもあるそうです。しかし、あくまで業者と個人との契約であるため、正確な状況は把握していない。

問 指定管理業者が1社であることも考えられるので、他の業者と競合させることも必要ではないか？

環境課長 今のところ、1社のみという状況である。許可業者に関しては、2年ごとに更新し、適格性を審査して事業の許可を行います。平成24年度の4月から更新となるから、許可業者の募集準備を現在行っている。

問 町独自で、維持管理業務を行うことで管理費の負担が軽減されると思うが？

環境課長 現在、合併処理浄化槽維持管理検討委員会を立ち上げ、協議を開始した。今後、維持管理組合等の設立に向け準備を進めたい。

問 ある程度維持管理組合の稼働・運営のシミュレーションはあるのか？

環境課長 これから具体的な検討をさせていただきたい。

問 町の財産である掘の再生、維持管理には大変な労力と財源が必要であると思う。小さな自治体での財源確保は厳しく、将来的においては、町独自の目的税(仮称、環境税)の創設も考えられないか？

町長 環境税の創設については、税の導入となり、町民に新たな負担を求めることになるので、町民に理解を得ることが一番重要だと思

問 掘再生にはできるだけだけ町民に負担をかけずに事業ができることを望むが、町民みずからが負担をしてでも維持、再生努力をしていく必要があるという啓発活動と、掘再生のための部署・人材が必要となってくると思わ

町長 今後、総合的な施策の中で、十分検討していきたい。



掘再生の工事状況

浄化槽維持管理費比較表

		5人槽	6人槽	7人槽	8人槽	10人槽	
大木町	業者委託料	保守点検費	23,000	23,000	23,000	23,000	23,000
		清掃費	24,000	26,000	28,000	30,000	34,000
		小計	47,000	49,000	51,000	53,000	57,000
		消費税	2,350	2,450	2,550	2,650	2,850
		11条検査	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600
		合計(年額)	54,950	57,050	59,150	61,250	65,450
合計(月額)	4,579	4,754	4,929	5,104	5,454		

年6回実施(法的には3回以上) 生物処理、薬剤補給が必要なため年1回以上実施